

科目名	古典 (3年生) (4単位)
-----	-------------------

1、教科書・副教材

高等学校 新編古典(明治書院)[古典016] カラー版新国語便覧(第一学習社)
--

2、科目の目標

古文・漢文の読解のための基礎的な能力を身につける。 ことわざ、故事成語、四字熟語などの成り立ちを理解し、日常生活で使いこなせるようにする。 古典作品に親しむことによって、日本文化の特質の一端を理解する。

3、学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)	
1 学 期	4月	伊勢物語 方丈記 「ゆく河の流れ」大鏡 「三船の才」 「酒虫」 枕草子 「春はあけぼ の」 「虫 は」 故事 「糟糠之妻」	古文の学習は語句の意味 調べ、現代語訳、解釈を中 心に行なう。基本的な文法 事項についても学習する。 漢文の学習は訓読、解釈を 中心に行なっていく。故事成 語、四字熟語なども学ぶ。	中間考査	20
	5月				
	6月		1学期の学習内容を継続し、 基礎力の定着を図る。土佐 日記では作者が女性に仮託 して日記を書いた背景を理 解する。奥の細道では作者 の旅に対する思い、平泉で の心情なども読みとる。漢文 では寓話の真意を読みと る。1学期に続き、ことわざ、 四字熟語なども学ぶ。	期末考査	22
	7月				
2 学 期	9月	土佐日記 「門出」 「忘れ貝」 故事 「杞憂」 寓話 「不死之薬」 「且買履」 奥の細道 「旅立ち」 「平泉」	1学期の学習内容を継続し、 基礎力の定着を図る。土佐 日記では作者が女性に仮託 して日記を書いた背景を理 解する。奥の細道では作者 の旅に対する思い、平泉で の心情なども読みとる。漢文 では寓話の真意を読みと る。1学期に続き、ことわざ、 四字熟語なども学ぶ。	中間考査	22
	10月				
	11月		1、2学期の学習内容を継続 する。作者独特の感性に よって書かれた文章を味わ う。	期末考査	22
	12月				
3 学 期	1月	枕草子 「野分のまたの 日こそ」	1、2学期の学習内容を継続 する。作者独特の感性に よって書かれた文章を味わ う。	学年末考査	10
	2月				
	3月				

4、評価の方法

定期考査の成績の他に、平常点として出席状況や授業態度を加味する。 さらに、毎時間のノートやプリントの提出状況を勘案し、提出点として加える。
--

5、学習にあたっての注意とアドバイス

※教科書・筆記用具等忘れ物をしないこと。できるだけ読解力が身につくように、自分の力で積極的に調べ、かつ考えること。
